

埼玉印だより

第143号 平成29(2017)年6月30日発行

発行：埼玉県印刷工業組合 編集・製作：組合広報委員会
〒360-0031 熊谷市末広 1-63 TEL048(524)4186 FAX048(524)7680

URL <http://www.saipia.net/>
E-mail info@saipia.net



山形県鶴岡市「赤川花火大会」より

印刷：小沢写真印刷株式会社（川越支部）

【用紙提供：埼玉会】

5月18日
浦和ワシントンホテル
にて

平成29年度通常総会開かる

講演会 中央情報学園 未来デジタル研究所 所長 堀切達也氏による
『情報革命と近未来ICT社会』

埼玉印工組平成29年度通常総会が、5月18日(木)午後3時20分から浦和ワシントンホテルで開催されました。定刻になり市川副理事長の司会で総会がス



市川副理事長



大川青年部会長



講演風景



岩渕理事長

スタートしました。新副理事長が元気に開会あいさつを述べ、大川青年部会長がリードして印刷産業人綱領の唱和と続き、岩渕理事長があいさつに立ちました。「1年が無事終わりました。印刷産業はデータをよこせといじめられて冬の時代です。対策をたてないと風邪をひいてしまいます。〔前門の虎、後門の狼〕、虎は市場全体の縮小、狼は地方自治体のデータ吸い上げで、問題解決のためにも埼玉印工組は、教育・研修・経営革新3本柱で頑張りましょう。その中の教育で、対策授業後の2月にクロスメディアエキスパートの試験があり、5月に発表がありました。埼玉印工組は全国平均28%より高く38%でした。これからも社員のレベルアップに取り組み、更なる発展を目指し、この難局を乗り切っていくしましょう。」

司会の市川副理事長が「出席組合員20名、委任状出席22名、組合員64社に対し過半数を超え、総会成立」と報告し、議長に浦和支部星野晃輝氏が任命され議長に入りました。

第1号議案 平成28年度事業報告承認の件、
第2号議案 平成28年度収支決算承認の件を一括審議することとなり、大谷専務理事が報告、説明しました。監査報告は監事の櫻井豊喜氏が立ち、4月10日に監査を行った旨報告しました。この2案件は特に質問もなく、賛成の拍手により承認されました。



大谷専務理事

続いて第3号議案平成29年度事業計画案承認の件、第4号議案 平成29年度収支予算案の件、が大谷専務理事から提案説明されました。収支予算案の中には、平成32年の全国大会が長野県で予定され、関東甲信越静地区での協力金をまだ予算に組み入れていないことも合わせて説明されました。この補足説明を含めて拍手により原案が承認されました。



櫻井監事



星野議長

第5号議案 借入金の最高限度額決定の件も拍手で承認となりました。

報告事項(中央会受注報告・熊本地震義援金報告)を大谷専務理事が説明、議事・報告共にすべて承認可決されました。



城戸副理事長

星野氏の小気味よい進行で議事もスムーズに進み、議長解任、城戸副理事長の閉会のことばで総会を終了しました。



堀切講師

第2部の講演会は、岩淵理事長が著作を読んで感銘し、講演を依頼し実現に至った中央情報学園未来デジタル研究所所長堀切達也氏による「情報革命と近未来ICT社会」の演題で行われました。

未来デジタル研究所は、デジタル革命のスピードがますます加速する現代社会において、産業と社会は今後どのように変化していくのか、またビジネスや人間の生き方はどのように変わらざるを得ないのか、これから進むべき近未来の技術動向を見据えつつ、人材育成の基本理念と方向性、専門教育のあるべき姿について研究しています。

■新しい時代を招くICTエンジニア像

- 心構え 1. 専門性プラス幅広い見識
2. 異分野の専門家との協業
3. 新しいビジネスモデルを創出
4. コミュニケーション力&英語力のアップ

経営者の心構えは、①人脈②あきらめない③ビジョンや志を持つ

■現代の情報革命と歴史的位置

全世界に張り巡らされたインターネット上で行き交う情報、その情報を体系づけた知識、その知識の蓄積・活用の方法が、企業や国民経済の競争力を左右するようになった知識資本主義の社会システムを、情報革命を繰り返してきた長い人類史の中に、明確に位置付けることである。

■近未来ICTの最新動向とメガトレンド

本は残る派(最初の1行から順に読む本は残る) 消える派(百科事典や全集は紙ではなくデータを読む、画面が大きくなる)の主張はあるが、新聞・雑誌・漫画は電子媒体になり、学術書・長編小説は本として残ると予測する。

■近未来ICTと新たなビジネス

- ICT産業と産業構造の変化
近未来ICTの経済システムへのインパクト
近未来ICTと、日本経済の新たな発展

近未来社会を新たな発想でデザインする。近未来社会は、人間が創造するもの。

■知識職業人として勝ち抜く3つの条件

1. 暗黙知を形式的にできる能力アップ

2. 異業種交流、人工知能との協業ができる

3. 2つの得意技を持つ

製造業に従事する印刷業者も知識職業人にシフトしていく必要がある。



渋谷副理事長



懇親会風景

第3部懇親会は、大谷専務理事の司会でスタート。渋谷副理事長が来賓紹介、関連企業紹介をし、衆議院議員の田中良生氏の秘書森本氏、さいたま市副市長の日野氏、中央会熊谷支所長松本氏3名の来賓からあいさつを頂きました。今回出席者名簿に関連企業25文字以内のPRの欄を設け配布しましたので、それを見ながら各社の関連さんが一言、そして関連企業を代表して富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)の臼田勝三氏があいさつをのべ、新井顧問が乾杯をし、関連さんとの交流の時間が続きました。最後に浦和支部・川口支部が壇上に上がり、三本締め、そして恵副理事長の閉会のあいさつで本日の幕を閉じました。



森本氏



さいたま市日野副市長



中央会松本氏



新井顧問乾杯



臼田氏



恵副理事長



浦和・川口支部の3本締め

埼玉県印刷工業組合青年部 ▶ 通常総会開催 於：宇宙劇場



大川会長が議長に



新井副会長 事業報告



里見会計 決算報告



新監事監査報告



望月副会長 会則変更議案



大谷副会長 事業計画

引き上げるというものです。これにより更に幅広い年齢のメンバーが活動できることとなり、青年部の活動も一層活性化することが期待されます。また、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画・収支予算と、全ての議案が無事承認されました。その後、丸山幹事の閉会のことばをもって総会は



真野会計 収支予算



丸山幹事 閉会あいさつ

閉会となりました。閉会后、全青協の恵議長より各種事業のアナウンスがあり、今年度も青年部をあげて恵議長を支援していこうと再確認しました。会場を移しての懇親会は大いに盛り上がり、皆が親交を深める事ができました。本年度も青年部会を、宜しくお願い致します。



全青協 恵議長

本年度も青年部会を、宜しくお願い致します。



施設内健診も予約受付中!

定期健康診断・有機溶剤健診・ストレスチェック
あなたの会社まで検診バスで出張健診にうかがいます!

TEL 0493-81-6029 FAX 0493-81-6749

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

URL <http://www.saitama-kenkou.or.jp>

埼玉県比企郡吉見町江和井410-1



組版編集ソフトウェア

モリサワ

MC-Smart 2

複雑な組版を直感的で簡単な操作で実現。

POINT 1

リーフレット、書籍から複雑な組版までも幅広く対応

POINT 2

自動組版機能で大量ページ制作が可能

POINT 3

オペレータ育成期間を大幅に短縮

www.morisawa.co.jp/mcsmart

株式会社モリサワ www.morisawa.co.jp

計画期間	「付加価値額又は「一人当たりの付加価値額」の伸び率	「経常利益」の伸び率
3年計画	9%以上	3%以上
4年計画	12%以上	4%以上
5年計画	15%以上	5%以上

です。

なかなか高いハードルですが、諦めずに、目標として掲げて達成に向かって努力すればいいのです。

埼玉県印刷工業組合の会員の中で、既に経営革新計画の承認を取得している企業が2社あります。五光印刷さんと文林堂印刷所さんです。城戸紀夫社長からアドバイス等をいただきました。

五光印刷(株) 城戸紀夫社長コメント：

当社の場合は、県産業支援課とコンサルタントの絶大な支援で取得する事が出来ました。テーマは自社として新たに取り組みたい事なら何でもいいのではないのでしょうか。計画書はハードルが高く見えますが、5年後の逆から考えて伸び率をここまで伸ばすには何処の数字を伸ばしていかななくてはいけないのか、というようにして理想の計画書を作りました。出来上がってみると自社の問題点や目標とする数字が明確に見えてくると思います。取得後は簡単な経過報告書を出すだけですし、計画通り出来ないからといって、何のお咎めも有りません。また、ものづくり補助金申請の時にも添付して加算してもらいました。

埼玉県のホームページにはモデル事業例が掲載されています。この中に岩岡印刷工業(株) (岩岡 正哲 社長) の事例が載っています。この事例からポイントとなる部分を抜粋して紹介致します (詳細はホームページ参照)。

4. 「経営革新計画」の実践

テーマ：特許出願技術を利用した薄紙多色印刷分野での新製品開発と内製化率向上による一貫生産体制構築

◆ 理想の印刷物を追求するために

「どうせやるなら徹底的に差別化しよう」。

印刷のスタートからゴールまで徹底的に理想を追求する作業が始まった。

印刷のスタート地点は「組版」だ。これまでは他社にお願いしてきた組版から自社で行うことを決意する。文字のサイズ、太さ、行間、フォント、余白、下線の使い方…あらゆるパターンで何度も試行錯誤を繰り返す。やがて出来上がったデザインは顧客企業に好評を得て、他かい評価が多方面から寄せられるようになった。

◆ メジャーな市場へ進出

差別化への取組は続く。岩岡印刷は幅広いニーズに対応することを目指したのである。当時持っていた印刷機はA判縦 (主に書籍の印刷用、比較的ニッチな分野の印刷機) とB判縦 (主にチラシの印刷用) のみであった。そこでメジャーな市場のA判横 (主にパンフレットの印刷用) の機械を導入することとしたのである。上場している印刷会社を除き、3種類以上のサイズの輪転機を保有している印刷会社は国内に数社しかない。印刷される全てのサイズに対応できる印刷機を導入することで、「岩岡印刷工業に頼めばどんな印刷物でもできる」という安心・信頼感を与える戦略に打って出たのである。

◆ 理想の設備が見当たらない。日本になれば世界へ、それでもなければ開発へ

最後の仕上げは「製本」工程であった。印刷業としては創業以来80年あまりにもなるが、製本工程は初めての取組である。納得のいく製本機械を探し求めた。しかし、日本の製本機械では納得できる水準にない。海外で初めて納得のできる機械に巡り会う。一般機の4倍もする値段であったが、理想を追求するという理念をぶらすことなく、購入に踏み切った。

また、既製品では物足りない機能があれば、メーカーと共同開発し、充実させていった。その一例が、スキヤニング、バーコードシステムである。製本された製品を1部1部すべて画像スキャンし乱丁・落丁があれば自動的にはじき出すシステムを開発。さらに、すべての印刷物にバーコードを付しスキヤニングシステムではじき出されたものがいつ作られたどのロットの物なのか分かるようにしたのである。

岩岡社長の理想は、新工場という形で結実していった。

関東甲信越静地区協議会、下期定例会開催される



平成28年度下期定例会

出席者



清水協議会会長



滝澤副会長



生井専務理事



大会旗伝達

平成29年3月3日(金)に東京ハイデルベルグジャパン会議室に於いて平成28年度下期関東甲信越静地区協議会が新潟工組主管で開催され、埼玉印工組から岩淵理事長始め8名が出席しました。

全体会議、理事長会・分科会、分科会報告、懇親会の構成で行われました。

全体会議で、協議会清水会長(長野県理事長)は、「印刷業界としていかに生き残れるかを真剣に考えないといけない。今は他業界との垣根が低くなってきており、他業界の参入が容易になっている。逆に印刷業も他業界に参入することができるようになったといえる。これからは自社でどの方向に進めばいいのか認識することが必要である。また、関東甲信越静地区協議会の地区全体で、皆様の力を発揮できる組織を目指したい。」と述べました。

続いて、全印工連滝澤副会長から事業継承支援に関する事業や中古車リース事業、遠隔地からもセミナーができるシステムも開始し、向こう1年間は全印工連が利用料は負担し体験してもらおう、等新事業への取り組みについての説明がありました。

また、生井専務理事から用紙値上げについては再度調査し中小印刷産業振興議員連盟への働きかけを行う考えを示しました。

理事長会では2020年の印刷文化典の候補地についての協議で、候補地に長野県が推薦されました。

分科会報告後、主管県の新潟工組堀理事長から感謝が述べられ、長野県工組へ大会旗が手渡されました。長野県工組増田副理事長からは「7月7日・8日にホテルメトロポリタン長野で皆様のご参加をお待ちしています。」と参加を呼びかけました。

平成29年度関東五県印友会、千葉大会開催さる



出席者

平成29年6月16日(金)～17日(土)、関東五県印友会がオークラ千葉ホテルに於いて行われ、埼玉印工組から渋谷副理事長始め5名が出席しました。

天候にも恵まれ、心地よい海風の中で、東京湾海上散



千葉県吉田理事長



吉田会長

歩幕張沖クルーズの視察が行われました。式典では、主管県の吉田理事長の歓迎あいさつ、五県印友会の吉田会長のあいさつ、みらい企業年金基金新井理事長のあいさつと続き、日本印刷技術協会シニア・リサーチャー藤井健人氏による「印刷ビジネスの最新動向2017」を演題の講演会が行われました。データを基に現況の説明、地域活性、フリーペーパーを活用した地域活性モデル例等の紹介がありました。

懇親会では、JAZZ演奏の心地よい演奏を聴きながら各県、関連企業の懇親を深めました。また、5県の理事長がそれぞれ自分の県自慢をし、笑いの絶えない懇親の場となりました。千葉県の素晴らしいおもてなしを受け、来年主管の埼玉県もこれから案を出し合い準備したいと思います。



藤井講師



次期開催県埼玉、渋谷副理事長

クロスメディアエキスパート認証試験 結果報告

教育・研修委員長 城戸紀夫

印刷関連資格士会が中心となって団体受験でチャレンジしたクロスメディアエキスパート認証試験 (JAGAT主催、2月26日実施) の合格発表が5月1日にありました。当組合からは34名が受験し、13名の合格者が誕生しました。本当におめでとうございます。

この試験は第1部 (択一式) と第2部 (記述式) で行われますが、出題数がとても多く、知識はもちろんの事、時間との戦いがかかり厳しい、大変手ごわい試験です。全国の合格率は28.7%ですが、当組合では38.2%と素晴らしい成果をあげました。

岩淵理事長の呼びかけにより、今回が初めての試みでしたが、昨年12月から3回にわたり試験対策講座を開き、準備してまいりました。寒風吹きすさぶ中、熱心に参加して頂いた各企業の皆さんには大変お疲れ様でした。

合格した方は、この肩書を今後のビジネスに活かして頂きますよう期待します。また、残念ながら今回目標に達しなかった方も、今年も対策講座開設を予定しておりますので是非再挑戦してください。

試験結果概要

	全国	当組合
受験者数	122	34
総合合格者数	35	13
1部合格率	74.4%	63.3%
2部合格率	31.2%	41.2%
総合合格率	28.7%	38.2%

クロスメディアエキスパート対策講座・試験を終えて 望月印刷株式会社 代表取締役社長 望月 諭



この度のクロスメディアエキスパート対策講座および試験を終え、組合として、また当社としても多くの合格者を輩出することが出来たことを非常に嬉しく思います。

当社では以前から企画やメディアミックスの考えを重視した教育と課題解決の提案に力を入れておりまし

たので、今回の団体受験はとても良い機会となりました。参加者からは、難易度の高い試験だったがとても充実した講座と試験だった、クロスメディアの思考や知識を体系的に学ぶことが出来た、同業他社の方との良い交流の場だった、といった声が多く挙がっております。今回の学びを仕事に活かすことはもちろん、今後は受講生を中心に社内勉強会や情報交換を積極的に実施することで、会社全体のレベルアップや次回受験者へのアドバイス等を行っていきたくと考えております。組合としてのメリットを活かした良い機会をいただき、誠にありがとうございました。引き続き、切磋琢磨しながらも共に発展していく組合活動を展開出来るよう尽力して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

豊かな新世紀を拓く

新しい時代の「企業づくり」のアドバイザー

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業



Human Balance
SHITARA

設楽印刷機材株式会社

本社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700
 宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385
 埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターミシン・伝票丁合・セパレートワックス・減感加工

信頼と技術、ガッツなパートナー



〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上952-5

電話 048-520-1649 FAX 048-520-1410

ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>



TRAQAI
ISO9001 認証取得

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機
NCW-07シリーズ(160.137.116.102)

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11

TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp



FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、独自のソリューション
「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。



「減らす」がつくる、クオリティ **FUJIFILM SUPERIA**

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

<p>(株) 吉岡 〒356-0011 ふじみ野市福岡五六一三 代表取締役社長 吉岡 薫</p>	<p>溝口洋紙(株) 〒330-0004 さいたま市見沼区鉦町一三三 代表取締役社長 溝口 泰男</p>	<p>武正(株) 〒367-0047 本庄市前原二・三・二五 代表取締役社長 武正 進介</p>	<p>(株) 共同紙販ホールディングス 本社 〒03(五八二六) 五二七 〒110-0014 東京都台東区北上野一・九・一二 住友不動産上野ビル6F 北関東支店 〒04(五七二二) 五二五 深谷市上柴町東五・二・二二 代表取締役社長 郡司 勝美</p>	<p>(株) 大塚紙店 〒355-0328 比企郡小川町大塚一〇八 代表取締役社長 大塚 暁</p>	<p>埼玉洋紙会 会員 * 洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を*</p>
--	--	--	--	--	--

普段はなかなかお会いすることのない埼玉印工組合員の事業所のすてきな社員の方をご紹介します。

第13回目は、小沢写真印刷株式会社さんです。

Vol.13 小沢写真印刷株式会社 画像編集部 市村 彩香さん

我が社の **すてき** **ZOOM UP!** **社員**



昨年12月に入社し、画像編集部署へ配属されました。市村 彩香です。

入社が決まり、神奈川県から引越しをしてきました。

まだまだ埼玉県での暮らしに慣れず、仕事もプライベートも先輩方にお世話になっています。

今後の目標は、本を手取る方々が笑顔になるようなものを作ること、お酒が好きなので、先輩方ともしっかりお酒を飲む機会を増やしていきたいと思っています。先輩、よろしくお願いします。

弊社は頼りになるベテランの先輩が多く、手取り足取り優しく仕事を教えてくれる環境があります。支えてくれるからと甘えず、早く仕事に慣れて、即戦力となれるように頑張りたいです。

訃報

ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

平成29年3月11日 アート印刷(株) (大宮支部)

ご母堂 山田 利子様 (101歳)



RYOBI

話題

High Quality & High Performance

LED-UV印刷システム搭載

A列フォーマットに高いコストパフォーマンスを実現した RYOBI 920 シリーズ

リョービ株式会社 グラフィック システム本部

〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8 TEL 03-3927-3300 <http://www.ryobi-group.co.jp/>



A全判高速オフセット4色印刷機
RYOBI 924



ハード

ソフト

材料

提案

人材

教育

明日の印刷業界を考える
MOTOYA

皆様のソリューションプロバイダー

株式会社モトヤは、身近なソリューションプロバイダーとして

これからもいつまでも 埼玉印工の皆様と歩み続けて参ります。

全国
市場.com

お得意様へのもう一歩踏み込んだサービス — インターネットショップ展開を無料でお手伝い
<http://www.zenkoku-ichiba.com/>

株式
会社

モトヤ

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711
大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931



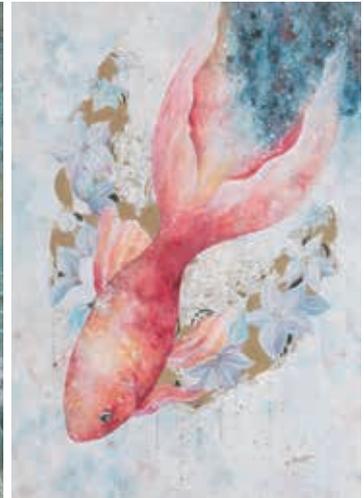
紙 上 作 品 展 2017



「がくあじさい」 大島都幾枝
水彩



「Aquarium」 間馬健一郎
アクリル



「ほうき星の願い」 晴智ありさ
アクリルガッシュ・水彩

(株)太洋社印刷所



📷「雨の日に 前橋敷島公園 バラ園にて」
鴻巣熊谷支部 株式会社 博文社 椎橋俊夫

すてきな作品お待ちしております

皆様の自慢の作品を募集しています。ご応募、お問い合わせは埼玉県印刷工業組合事務局まで。奮ってご応募ください。